

おとしびみ

2026年

7

月号



植物多様性センターは、東京都に自生する野生植物の一年の変化や、植物の周りで暮らす動物たちの観察を楽しむ植物園です。植物の保全にも取り組んでいます。

東京都に残された貴重な植物や環境を次世代へと継承するため、以下の3つの取り組みを軸に活動しています。

<絶滅危惧植物の保護・増殖> <絶滅危惧植物の情報収集・発信> <植物多様性に関する教育・普及>

消えていく水辺の植物たち

いよいよ夏本番、園内の水草の観察にはいい季節です。

気温の高いこの時期は、水温も上がるため水草の代謝が活発になり、成長スピードが一気に速まります。

同時に日照時間は長くなり、エネルギー源となる光合成が盛んになります。

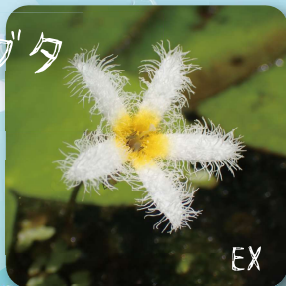
受粉を手伝う昆虫も多いので、開花するには絶好のタイミングなのです。

近年の東京都では、池沼や水田での埋め立てをはじめとする都市開発によって水草は激減し、生育環境の消失によりすでに絶滅した種もあります。

水質の悪化や外来生物の拡散も大きな要因とされています。

ガガブタ

多年生の浮葉植物。葉はスイレンに似ているが、全く異なるミツガシワ科。



EX

ミズアオイ

かつては農家泣かせの「雑草」。農薬の使用や田んぼの攪乱停止などの影響で絶滅。



EX

ヒツジグサ

浮葉と沈水葉の2種類を持つ。3日間ほど、未の刻（午後2時頃）に咲く。



EX

まだ現存はするものの、近い将来に絶滅が危惧されている種も多く見られます。

オグルマ

常に浸水しているようなところではなく、やや湿った草地や田んぼを好む。



CR

トチカガミ

葉の裏面の中央部にある、スポンジ状の膨らみ（浮囊）によって水面に浮遊する。



CR

ハンゲショウ

白色は昆虫を惹きつける役割。生育環境の乾燥化により生存が脅かされる。



EN

絶滅危惧種だけでなく、普通種であっても急な環境変化によって絶滅の危機に瀕する可能性もあります。

サンカクイ

細い根茎は横に伸び、節から茎が立つ。花序より上に伸びているのは苞。



苞
(葉)
茎

イボクサ

長くて葯が青色の完全雄しべと、短くて葯が紫色の仮雄しべがある。1日でしぼむ。



完全
おしべ
仮おしべ

ヒメガマ

上部の雄花穂と下部の雌花穂の間が離れて、軸が露出しているのが特徴。



軸

水草を絶滅から守るためには生育環境の保護が欠かせません。

水辺での開発による埋め立てを控えたり、水質汚染を防いだりするほか、生息地の立ち入り禁止なども有効です。悪影響をもたらす外来種の駆除など、脅威となる要因を排除することも必要です。皆様もぜひ、関心を持ち続けてください。

東京都レッドデータブック 2023 のランク

EX: 絶滅

CR: 絶滅危惧 I A 類

EN: 絶滅危惧 I B 類

植物多様性センター ひとこと日記

ミツバチの講座を開催しました

5月23日、ミツバチの生態や蜜源植物との関係について学ぶ講座を開催しました。ミツバチの巣の中を見るのはみんな初めてで、かわいいミツバチを夢中で観察していました。



ミツバチについて学ぶ



巣の観察

雑木林の樹液に集まる虫



樹液のレストラン

樹液が出るクヌギには今年もたくさんの昆虫が集まっています。雑木林は色々な虫が見られて楽しいですが、樹液の周りには危ないスズメバチもいるので気を付けてくださいね。



コクワガタ

ジャコウアゲハの卵

5月半ば、園路沿いに植栽したウノズグサの葉っぱの裏側にジャコウアゲハの卵を発見！ウノズグサにはアルカロイド系の毒が含まれています。幼虫は葉を食べることで体内に毒を蓄積し、捕食の対策としています。



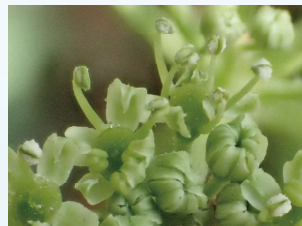
ジャコウアゲハの卵



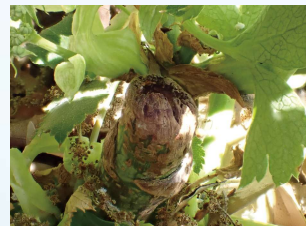
こんな幼虫が見られるかも

秋じゃないのにアシタバの花！？

5月にアシタバが咲いており、株元には去年の花茎の痕と思われる部分が残っていました。植物が季節外れに咲くことは時々ありますが、一回繁殖型の種が2回咲くこともあるんですね！種子もできそう。



春のアシタバの花



去年の花茎の痕？

お知らせ

ガイドツアー

無料 申込

14:00～(約40分)

定員15名(先着、初心者優先)

職員が学習園の植物をご案内します。参加希望の方は、開始時間に情報館にお越しください。

※実施日はカレンダーをご参照ください。

コラム最新号

「ぐんぐん伸びる夏の植物」

情報館と、下のQRコードから読めます。

講座

抽選

詳細は6月中旬にホームページで公開します。

「ようこそ！夜の植物多様性センターへ」

7月18日(土) 18:00～20:00

内容：夜の植物や昆虫などを観察します。

講師：石川和宏氏(調布市多摩川自然情報館解説員)、植物多様性センター職員

対象：小学生以上

(小中学生は保護者の参加が必要です)

参加費：1人50円(保険代)

受付期間：7月5日(日)17:00まで

注意事項：このイベントは抽選です。抽選結果は、当選者にのみ、お電話でご連絡します。

7月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
ガイド	休園日					
12	13	14	15	16	17	18
ガイド	休園日					講座
19	20	21	22	23	24	25
ガイド	休園日					
26	27	28	29	30		
ガイド	休園日					

神代植物公園 植物多様性センター

開園時間 9:30～17:00

入園料 無料

休園日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日～1月1日)

電話 042-485-1210

所在地 〒182-0011

東京都調布市深大寺北町1-4-6



ホームページ



X(旧ツイッター)



Instagram



月刊コラム



デジタルマップ



神代植物公園
植物多様性センター



神代植物公園の
正門から徒歩2分！